

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより



■発行/墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20)
■発行責任者/田中邦友 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

上段左より: 樋口 敏郎
木内 清
沖山 仁
瀧澤良仁
坂下 修
下段左より: 坂井ユカコ
しもむら 緑
中沢えみり
田中邦友
福田はるみ
加藤 拓
佐藤あつし



新年おめでとうございます



新年おめでとうございます。本年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます。昨年は墨田区制及び墨田区議会施行70年という節目の年でもありました。戦後復興を担ってこられた先輩方に心より感謝を申し上げますとともに、我々区議会も尚一層「丸」となりまして、墨田区の更なる発展のため邁進する所存でございます。

近年の北斎美術館開館や大学誘致実現といった墨田区の新たなイメージを定着させていくとともに、各施策や目前の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会準備の着実な推進を図ってまいります。皆様の引き続きのご支援よろしくお願いいたします。



墨田区議会議長
沖山 仁

議長あいさつ

新春を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。また、新成人となられます皆様から心からお祝い申し上げます。

昨年秋の総選挙の結果、引き続き現政権に国政の舵取りが任せられ「幼児教育・保育の無償化」などの政策の実現を期待するものです。

さて平成30年度は、区議会第18期の任期の最終年であり、議会改革をはじめ、4年間の成果が問われる総決算の年でもあります。

区内人口は27万人を目前にしており、選ばれる街「すみだへ」と変貌しつつあります。そうした中、私たち自民党は、区政が抱える諸課題に会派一丸、全力で取り組んで参ります。

本年も変わらぬご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



墨田区議会
自由民主党 幹事長
田中邦友

幹事長あいさつ

大学がもう一つ墨田区に

3月22日、本区は国立大学法人千葉大学と「包括的連携に関する協定」を締結。旧すみだ中小企業センターを活用した新キャンパスの整備や日本初となる「デザイン・建築スクール」の設置を現在進めているところ。この度新たに12月4日、学校法人電子学園(i専門職大学)との包括的連携に関する協定を締結いたしました。大学のもつ知的資源の活用、地域経済の活性化などをめざしてしっかりと協議を進めていきます。



学校法人電子学園との協定式

墨田・台東 観光連携協定を締結

昭和52年に姉妹区提携を結んで以降、様々な分野で連携してきた墨田区と台東区は提携40周年を迎え「観光分野における連携に関する協定」を締結しました。今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、ラグビーワールドカップ2019大会の開催に向け、両区の観光事業を協働で盛り上げるために、相互連携、協力関係をさらに強化してまいります。



12月2日、墨田区役所うらおい広場で開催された連携イベント「墨田・浅草にぎわい祭り」の様子

すみだ北斎美術館 開館1周年

平成28年11月22日にオープンしたすみだ北斎美術館は開館1周年を迎えました。国内外からの来館者は37万人を突破、寄付金は7億6000万円となりました。この寄付金は、企画展の運営等、地域へ、世界へと「北斎」を発信していくために幅広く活用されます。

現在、開館一周年記念企画展「めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」を開催中・1月21日(日)まで。



開館一周年記念企画展「めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」

東京2020パラリンピック カウントダウンイベント

東京2020大会組織委員会と東京都は、開幕1000日目の節目に合わせて、東京スカイツリータウンにてカウントダウンイベントを開催しました。アスリートと区内の小学生が参加するステージや、特別ライトアップ、競技体験コーナーなどが設けられました。本区は9月2日に「墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会」を設立しました。大会を契機とした地域活性化に向けて、区、区民の皆様、町会・自治会、事業者、関係団体等が連携しながら、オールすみだで取り組んで行くものです。大会成功に向け皆様のご協力をお願いいたします。



スカイツリーを「1」に見立てて「あと1000日」

みんな思い思いに「1000日後の自分」をボードに書いて「はいチーズ」

NEWS

区長・教育長へ問う

代表質問



墨田区議会議員 福田はるみ

平成30年度の予算編成について問う。

問 法人住民税の一部国税化等による特別区交付金の減収のほか、各種交付金の落ち込みも想定される。区の歳入環境は大変厳しいものになると考えている。また、歳出においても、保育定員の拡大も含め、社会保障関連経費の増加も見込まれ、予算の許さない状況にある。

答 創意工夫を凝らし、不要不急の事業の見直しや再構築など、より一層の行財政改革を推進し、効率的・効果的に区政を運営していく。中長期的に強固な財政基盤を構築していきたいと考えている。

大学誘致と文花地区に複数の大学が立地する事を想定した大学の杜構想について。

問 進捗状況・墨田区の活性化・また千葉大学との連携等相乗効果を得る事は出来るのか。今後、この地域のまちづくりについてどの様に考えているのか。

答 現在、i専門職大学と協議を進めており、12月4日に「包括的連携に関する協定」を締結した。大学と企業の人的・知的交流を通じた区内中小企業のICTに関する知識・技術力の向上による区内産業の活性化や、プログラミング教育をはじめとする教育・学習面での貢献などが期待される。千

葉大学と当該学校法人との協議はまだ行われていないが、様々な相乗効果が期待できる。

地域の活性化に向け、「文花地区まちづくり方針」を策定し今定例会の常任委員会で報告を行う。

墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画の取り組み・介護人材の確保について問う。

答 運動、栄養等の教室を区内全域で実施するとともに、地域の介護予防活動を推進していく。「保険者機能の強化」については、身近な場所での介護予防活動ができる「通いの場」を増やしていくなど新たな対策を進めていく。

人材確保策として、ハローワークと連携し情報発信を行う。区の取組等をさらにPRし、介護従事者が区内の事業所への就職を誘導できるような支援を検討していく。

防災対策・水害対策の取り組みについて。

答 本年度は、地域キャラクターによるスタンドバイ訓練等ご家族連れプログラムもあり多くの方に参加して頂いた。防災訓練の活性化につなげられるように検討する。

答 ハザードマップでの危険箇所の周知、雨水ますや側溝の清掃、土のうステーションの整備など、必要な対策を講じている。「江東5区広域避難推進協議会」を設置し、現在、広域避難判断基準の策定、避難手段の検討等、さまざまな課題について協議を進めている。

子育て世帯の定住対策と子育て支援について。

問 ①子育て世帯定住促進支援として、「フラット35子育て支援型」を活用

できるように補助をすべき。②保育士不足等をふまえた、待機児童解消今後の取り組みは。③学童クラブブーズ・在宅子育てニーズ等計画を策定すべき。

答 ①フラット35子育て支援型の活用も視野に入れた検討・民間賃貸住宅への転居や、空き家の利活用に関する支援策概要について、本定例会の常任委員会において報告を行う。②保育士不足の解決に向け、様々な施策を検討していく。引き続き、保育所を整備していく。③平成31年度末には、学童クラブの待機児童解消を目標とし、着実に整備していく。(仮称)子ども未来館や旧家庭センター跡地に誘致する施設へも在宅子育て支援機能を盛り込むことを検討していく。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて地域人材の育成について、どの様に気運の醸成・レガシーの構築を図っていく予定か。

答 墨田区オリ・パラ地域協議会は、区民の気運醸成に向けて、聖火リレーやマランコースの誘致活動を行うことを決定した。大会を千載一遇のチャンスと捉え「オールすみだ」で魅力あふれるまちづくりに向けて取り組んでいく。

問 子供たちの英語教育の充実について問う。

答 日本人が発音しにくい単語を正しく発音するように、外国人講師による授業や発音に関するICT教材を活用し充実を図っていく。

区政施行70周年に関して

・国民健康保険制度の改革について
・学校跡地の活用と都有地に対する考え方について
・民泊について
・学習指導要領の改訂へ向けて

一般質問



墨田区議会議員 佐藤 篤

所有者不明土地・公契約について

区長と論戦

問 「所有者不明土地問題研究会」によると、現在所有者を特定できない土地が、昨年時点で全国約410万ヘクタール(九州本島並み)に及び、このまま推移すると2040年には約720万ヘクタール(北海道本島並み)に達するとの試算を公表した。相続登記がなされずに実際の所有者を把握することができない土地が増えることと見込まれ、経済損失額は同年までに約6兆円規模に上るとされている。

本区で今年1月に行った「墨田区空き家実態調査報告書」では、287通の調査票を送付したうち51通の不達が確認されている。これによると、本区内でも一定程度の所有者不明土地が存在すると考えられる。そこで、所有者不明土地について、国庫補助を活用した基礎調査を行う必要があると考えるが、区長の見解を求める。

答 区内にも、所有者を特定できない土地が存在することが想定される。今後、道路拡幅等のまちづくりを進めるうえで支障となる懸念がある。基礎調査の必要性も含め、引き続き国の動向を注視し、今後の研究課題とする。

問 所有者不明土地の所有者を探索する方法としては、登記簿があるが、必ずしも登記名義人が所有者とは

限らず、具体的には、住民票の除票等を用いて、弁護士、司法書士及び行政書士等の法律専門職が調査を行っていくこととなるが、ここで壁となるのが、住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間である。法令ではこれらについて自治体は5年間保存するものとするが、これを超えた保存は法的に義務付けられていないため、通常は5年満了後に消去されている。そこでこれらの保存期間を本区において早急に延長するよう求める。

答 住民票の除票等の保存年限の延長が、所有者が不明な土地等の所有者の特定を容易にする効果も期待できるが、課題もあるので、国における住民基本台帳制度のあり方に関する検討状況や他区等の対応を注視する。

問 本区が発注者となる公契約を調査すると、法令上、社会保険の加入義務があるにも関わらず、加入していない事業所でも、公契約の相手方となることできるという問題があり、税金を使った公共サービスの担い手が、法令を遵守していないということが起りうる。豊島区では、区が委託する社会保険労務士を通じて、区の実効性を高める取組を行っている。本区でもこのような取組を行うことで、区が区内事業者に法令の遵守を徹底させ、ひいてはそこで働く労働者の権利を守るべきではないか。

答 現在、区では入札案件の工事契約以外は、確認対象としていないが、社会保険は、法令で加入条件が定められており、該当していれば加入する必要がある。豊島区の取組は、社会保険加入について法令遵守の実効性を高めるものであると考える。対象とする契約や実地調査内容の範囲などについて、効果的、効果的な手法を検討していく。

平成28年度決算特別委員会が開催されました

10月17日～11月7日

区議会 自民党の意見開陳

■財政について

特別区民税が前年度と比べ3.0%増加、特定財源でも、遺贈信託財産の契約終了に伴う収入があり、財産収入が大幅に増加した。一方で、地方消費税交付金、利子割交付金がそれぞれ減。特別区交付金も、普通交付金及び特別交付金とも減少し、合わせて1.2%の減となった。

平成29年度には法人住民税の一部国税化等の影響で特別区交付金が引き続き減少する事が見込まれているので、将来的な見通しについても予測を行い、油断せず堅固な財政基盤の確保に務めるよう求める。

区債残高も引き続き適正な範囲内に収め、基金の着実な積み立てを行う事。歳出面では、少子高齢化の進展や社会動態を背景に年々扶助費の増加が見られる為、今後もより効果的・効率的な行政運営の推進が必要である。より一層の行政改革に努められる事を求める。

前列左より／福田はるみ委員、加藤拓委員、瀧澤良仁委員、田中邦友委員、樋口敏郎委員、木内清議員、坂井ユカコ議員、坂下修議員、中沢えみり議員、佐藤篤議員、

■区政の重要課題について

28年度予算は同年策定された、区政運営の羅針盤となる「墨田区新基本計画」全体をけん引する「夢」実現構想達成を目指して編成された。この予算は山本区長が編成した初の予算として、構想の達成を目指し執行され、この度の決算特別委員会では、我が会派から以下の内容を強く求めた。

【待機児童解消】

28年度予算案に付帯決議を付けた、待機児童の解消については、28年度から2か年で1000名を超える拡大を見込む計画が出来た。この件については高く評価するが、待機児童数は増加傾向にあり、保育士不足も喫緊の課題となっている。引き続き待機児童の解消に努めるとともに、在宅保育への支援の強化等、子育て環境の整備を求める。

【未利用の旧学校施設等】

速やかに計画を立て、順次解体し、維持管理費削減に努める事。

【平成28年度に開館したすみだ北斎美術館】

今後も来館者を確保するよう、指定管理者とともに努力を求め

る。また、引き続き更なる寄付金の確保に力を注ぐ事を望む。

【防災対策】

今年度補助率の改善を行った、より踏み込んだ対応を検討すべきである。

【錦糸町駅周辺の客引き防止】

江東橋防犯拠点を設置する事が決定した。錦糸町駅周辺の安全の為、今後も警察等関係機関との連携の強化を求める。

【高齢者福祉】

28年度から始まった介護予防・日常生活支援総合事業の実効的な展開を求める。加えて、今後は健康寿命の延伸、介護予防、要介護度の改善という観点に重きを置いて施策を進める事。



写真左より／沖山仁議長、しもむら緑委員長、浜田議会事務局長

【商業施策】

商店街振興組合が商品券を発行できるようになったことを踏まえ、長寿祝い金や功労者表彰の際に商品券を活用できるよう検討することを求めた。また、引き続き事業承継の支援等、区内事業者の事業継続に向けた支援を続けるとともに、人材確保の支援も検討を求める。

【教育】

学校ICT化が推進され、今年度はすべての小中学校に電子黒板等の資材が導入された。今後は、これらを授業 テンツの作製等、学力向上に結び付くソフト面の充実へ活用することを求める。

日本財団との条件が合わず事業が行えなかった**子ども未来広**

援事業。当初から実効性に疑問がある旨を指摘していた**就職前女性向け講座**。これまでの壁面緑化・屋上緑化事業の状況から実効性に疑義があった**壁面緑化**。4会派の合意で平成28年度予算1,200万円の修正議決を行った**就学応援事業**。以上、4点について最大限の指摘をした。

区長以下、理事者は我々の指摘を重く受け止め、平成29年度の予算執行については十分に留意するとともに、平成30年度の予算編成にあたっては、新規、既存にかかわらず、各事業については政策目的と効果を十分に検証した上で予算に計上することを強く求める。平成28年度墨田区各会計決算は、計算に間違いがなく、支出命令に符合しており、収支は適法であるため、認定する。

平成28年度墨田区一般会計歳入歳出決算については、墨田区議会公明党、墨田区議会民進党、新しいすみだの各会派のご賛同をいただき、以下の付帯決議を付すこととした。

<p>平成28年度墨田区一般会計歳入歳出決算に関する付帯決議</p>	<p>平成28年度墨田区一般会計予算案については、墨田区議会として、第3子以降の小学校入学祝い商品券の交付を行う就学応援事業1,200万円の修正議決を行った。</p>	<p>改めて区長に対し、子育て支援という目的に合致した補正予算案を提出することを強く求め、一時的に同額を財政調整基金積立金へ積み立てたものであるが、同年度中にこの提案が行われなかった。今後は、執行機関にあっては議会からの意見を真摯に受け止め、適切、適確な対応を執るよう厳に求めるものである。</p>
---	---	---

第四回定例会常任委員会トピック

企画総務委員会

写真左より／瀧澤良仁委員長、坂井ユカコ委員、木内清委員、

地域子ども文教委員会

写真左より／福田はるみ委員長、坂下修委員、しもむら緑委員、

産業都市委員会

写真左より／加藤拓委員、中沢えみり副委員長、樋口敏郎委員

区民福祉委員会

写真左より／佐藤篤副委員長、沖山仁委員、田中邦友委員

賛育会病院（太平三丁目）の移転が報告されました。同病院は老朽化による建て替えのため、区内の民有地で候補地を探してきましたが、実現には至りませんでした。医療福祉行政上、同病院の区内での移転が不可欠なことから、区では利活用が未定の旧立花中学校跡地（立花四丁目）を貸し付けることとしました。学校跡地は現在、吾孺立花中学校の仮校舎でもあり、同中学校の新校舎が完成する平成32年度以降、計画が具体化していきます。

経済的な就学困難世帯を対象に実施している就学援助制度。これまで、新小学一年生、新中学一年生を対象にした「入学準備金（新入学児童生徒学用品費）」は、入学年度の7月に支給していました。このたびわが会派の提言により、入学準備費用に充てられるよう、入学前に前倒して支給することが決定しました。制度変更は、新入学児童生徒がいる全世帯に郵送すると共に、区のお知らせや区の公式ホームページでお知らせします。

都市公園法の改正に伴い、墨田区立公園条例の一部を改正しました。今回の法改正で、飲食店や売店等の収益施設を公園内に設置するとともに、収益の一部を公園の整備・管理に充てる民間事業者を公募により選定する、公募設置管理制度が創設されました。この制度を使うと、①施設設置の許可期間が長くなる②従来は公園面積の2%までしか建物が建てられなかったものが12%まで可能になる③駐輪場や看板・広告を設置できる、という特例措置が適用されます。

「墨田区子どもの生活実態に関する分析報告書」が、この8月報告されました。この結果、本区では、①ひとり親世帯や就労している母親が多いこと、②子どもの所有物・体験の欠如を挙げた子どもが多いことから、子どもの居場所事業や体験活動の場を設定すること等が特に重要である、との結論となりました。自民党としては、区の制度を利用した子どもたち等にアンケート調査を行い、情報の収集と制度の改善をすることを求めました。

新年おめでとうございます

年賀状など時候の挨拶状は、公職選挙法により禁止されておりますので、本紙上をもって新年のご挨拶とさせていただきます。



田中邦友
夢と希望の持てる
墨田区を!

観光振興プランの着実な推進を図り、地域力の向上による「区民が主役の区政」をめざして取り組んで参ります。

- 幹事長・議会運営委員会委員長
- 区民福祉委員会委員
- 都区制度改革等特別委員会委員
- 決算特別委員会委員

☒八広1丁目39番17号
☎03-3616-7014



木内清
今すぐ動く
清心・実行・実績

区民のご意見をしっかり吸収、全力投球します。安心安全住みやすい下町実現。監査委員として正義主張。

- 監査委員
- 企画総務委員会委員
- 災害対策特別委員会委員

☒本所2丁目10番7号401号室
☎090-3060-8434



坂下修
すみだの夢実現へ

いま、喫緊の課題となっている、子育て支援、高齢者対策に全力を尽くし、一層の行政改革に取り組んで参ります。

- 地域子ども文教委員会委員
- 都区制度改革等特別委員会委員

☒向島3丁目18番10号
☎03-3625-1810



瀧澤良仁
区民生活が第一

子育て支援・障害者・高齢者等、区民生活を拡充し、安心して暮らしていける活気ある環境づくりを区民主体の目線で進めてまいります。

- 企画総務委員会委員長
- 災害対策特別委員会委員
- 決算特別委員会委員

☒墨田5丁目33番4号
☎03-3611-4003



中沢えみり
豊かな教育環境
すみだを目指します

教育、文化芸術、スポーツ環境の充実に向け本年も元気に邁進いたします。Enjoy another wonderful year!

- 産業都市委員会副委員長
- 都区制度改革等特別委員会委員

☒堤通1丁目5番9号
☎080-5008-9930



福田はるみ
スマイルすみだ
笑う門には福、春来る

皆様がお元気に生き生きと笑顔で過ごせる、素晴らしい一年となります様にお祈りしています。

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 地域子ども文教委員会委員長
- 災害対策特別委員会委員
- 決算特別委員会委員

☒業平4丁目5番16号
☎03-3618-6125



樋口敏郎
笑顔で暮らせる
まちすみだ

安全、安心「笑顔で暮らせるまち」すみだ、皆様を知って頂ける「開かれた議会」に全力を尽くします。

- 産業都市委員会委員
- 議会改革特別委員会委員長
- 決算特別委員会委員

☒八広3丁目6番3号
☎03-3617-4129・090-6043-3869



沖山仁
皆様の心を
一つにして

今年も皆様 safely で安心して住み続けられる魅力あふれるすみだを目指して取り組みます。

- 墨田区議会議長
- 区民福祉委員会委員
- 災害対策特別委員会委員

☒京島1丁目39番1号918号室
☎03-3617-6558



坂井ユカコ
地域活動で養った
確かな行動力で。

身近な区政、生活に密着した目に見える区政を大切に、皆様の声にしっかりと耳を傾け、今年も元気一杯頑張ります。

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 広報部長 ● 企画総務委員会委員
- 議会改革特別委員会委員
- 編集長

☒東駒形2丁目2番4号
☎03-3622-7063・090-3617-4313



佐藤篤
未来のこの街・
子どもたちを想像して

千葉大学・i専門職大学の誘致が実現しました。「地域に開かれた大学」の具体化に向け、住民の皆様との懸け橋となって努力します。

- 区民福祉委員会副委員長
- 議会改革特別委員会委員

☒京島3丁目18番4号
☎090-8567-8293



しもむら緑
百年先を見るなら人を
育てることが大切

どんな家庭環境に育った子供も未来への明るい希望が持て、夢を実現させることができる社会を目指します。

- 地域子ども文教委員会委員
- 議会改革特別委員会委員
- 決算特別委員会委員長

☒亀沢4丁目22番8号608号室
☎080-2443-0212



加藤拓
今年もよろしく
願います

引き続き皆様のご意見をいただきながら区政の課題に取り組みます。区の将来につながる提案をしていきます。

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 政務調査部会長
- 産業都市委員会委員
- 議会改革特別委員会副委員長
- 決算特別委員会委員

☒緑1丁目2番12号503号室
☎050-1334-9640

お気軽にご意見をお寄せください。
墨田区議会自由民主党

ホームページも
チェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

